

新生児マススクリーニングについて

新生児マススクリーニングは、赤ちゃんの先天性代謝異常などの病気を見つけるための検査です。検査できる疾患が少しずつ増えてきており、2024年度より3疾患が追加されました。当院でも追加となった検査項目についてのパンフレットをお渡ししています。今まで対象としていた疾患に対しては、お手持ちの母子手帳の別冊に申込書が付属されています。追加疾患に対しては、母子手帳の申込書とは別に検査同意書を妊婦健診時にお渡ししています。

当院では申込書および同意書を分娩入院時に提出していただいています。入院してからの記入は、陣痛がきていて難しい場合がありますので、入院までには記入し、入院グッズと一緒にセットにしておいてください。

先天性代謝異常とは、生まれつき特定の酵素に異常があって起こる病気で、大きく分けて4つの疾患群があります。

① アミノ酸代謝異常症

特定のアミノ酸が体内で代謝されずに蓄積し、発育・知能の障害やけいれん発作などを引き起こします。しかし、新生児期に発見し、治療用ミルクによる食事療法を早期に開始することで健康な生活を送ることができます。

② 有機酸代謝異常症

アミノ酸が分解される途中で作られる有機酸が蓄積して、新生児期や乳児期に血液中のアンモニアが異常に高くなったり、嘔吐や意識障害、けいれんなどの症状が出現します。

③ 脂肪酸代謝異常症

空腹時に体内の脂肪からエネルギーを作り出す過程が障害され、発熱時や絶食時に痙攣や意識障害を引き起こします。長時間の絶食を避けることで発症を防ぐことができます。

④ 糖代謝異常症

母乳もミルクにも多く含まれる乳糖の成分であるガラクトースを代謝する過程が障害され、哺乳力低下、体重減少、肝腫、黄疸などがみられたり、白内障を発症することがあります。ガラクトースが除去された治療用ミルクなどの食事療法を行うことで発症を抑えることができます。

今月の赤ちゃん

Instagramにも掲載させていただいています。分娩直後にママの胸の上に乗せて、肌と肌をくっつけるカンガルーケアの一コマです。これを行うと赤ちゃんの呼吸が落ちつきます。しばらくママと誕生の達成感を共有したあとに、赤ちゃんは体重測定などを行っています。素敵なお写真の掲載許可をくださり、ありがとうございました。

